

特定非営利活動法人 わっか

2019年度 月次報告書

2019年
11月

だれもがまるごと
受け止められる
社会をつくる



NPO 法人 わっか

NPO 法人わっか とは

だれもが、まるごと受けとめられる社会 を目指して活動を行う団体です。

現在の、子どもを取り巻く環境について

子どもたちは「思うがまま」に過ごす時間や、まるごと受けとめられる経験が少なくなっています。いまの子どもたちは、自分では変えることができない社会環境や大人の意識の変化により「思うがまま」に過ごす時間や、まるごと受けとめられる経験が少なくなっています。

大人の価値観による評価、他者との比較や数字で表せる結果で、子どもの存在を条件付きで認める場ばかりになり、さらには、地域社会においても、その子のまるごとを受けとめてくれる存在も少なくなっています。また、学校、学習塾、習い事、スポーツクラブで多忙な毎日を送り仲間も時間も空間もなくなりつつあります。

私たちは、まるごと受けとめられる場づくりをしたいという思いで

居場所づくり事業 や **出会いと学びを育む事業** などを行っています。



月ようわっか
毎週月曜日
15:30~20:00

のべ人数

こども 108 名 (71 名) 大人 19 名 (5 名)

※ () 内の人数はご飯を食べた (持ち帰りも含む) 人数

毎週月曜日の放課後に必ず開かれる場です。参加費無料・申込不要。カリキュラムやプログラムは一切なしで、「ルールがない」がルールです。子どものみちくさできる場所、子どものたまり場として場を開いています。

4日 こども 23 名 (15 名) 大人 4 名 (0 名)

メニュー：ごはん、里芋と人参の味噌汁、ロールキャベツ、かぼちゃのパターソテー

11日 こども 28 名 (20 名) 大人 5 名 (2 名)

メニュー：ごはん、こんにゃくの味噌汁、大根と鶏肉の煮物、小松菜としめじの炒め物

18日 こども 28 名 (16 名) 大人 4 名 (0 名)

メニュー：ごはん、なめこの味噌汁、キャベツのおかか和え、大根の煮物、さばの味噌煮

25日 こども 29 名 (20 名) 大人 6 名 (3 名)

メニュー：ごはん、じゃがいもと玉ねぎの味噌汁、おでん、大根の皮のきんぴら、ピーマンのしらす炒め

番外編・・・月曜日の人数が多すぎて、ゆっくりできないという声に応じて、金曜日もひっそりと開けるようになりました (17:30 ~ 20:00)

1日 こども 1 名、おとな 1 名 8日 こども 3 名、おとな 1 名、

15日 こども 6 名、おとな 2 名 22日 こども 5 名、おとな 4 名

29日 こども 8 名、おとな 1 名



nobi と asuka アメブロ「月ようわっか」

わっかに来始めて
1年と半年になる女のこ

元気いっぱい、力いっぱい、
明るい、明るい…
でも、時々淋しい目をする。

友達の事ですごく悩んでいて
たくさん話しして、
話しながらも

明るく振舞ったり
怒ってみたり
冗談にしてみたり

死ぬ
と叫んでカッターを握ったり
車に轢かれない
と言って道路の真ん中で寝転んだり

頑張っている
学校も休みがちになり

クラスの全員から無視される
挨拶しても誰も何も言わない
顔も合わせてくれない

そして
保健室登校するようになっていた

わっかでは
元気いっぱい
声も大きい
明るい、明るい…

でも、
わっかには会いたくない
同じ学年の子も来る

わっかにも行きたくない
でも、行きたい
わっかに来るものの
部屋の隅っこに居たり、

会いたくない子達が帰るまで
どこかにふらふら行ってたり

会いたくない子達の中には
同じクラスの男の子が混ざって
一緒に遊んでいる

周りの子が帰った後
その男の子は1人残るようになった

ふらふらと外から戻ってきたその女の子に
声をかけるようになった

これいくらだっけ？
あいつバカだよなー
ババァあすかー！ほら見て！変な顔ー

学校の話はほとんどない
わっかの話しばかり
そのうちトランプで遊ぶようになった

お互いの名前を呼び合って
どうでもいいような話しをして
そして、その女のこに向かって
バイバイと言って帰る

小さな小さな積み重ねが
どんなに人の心をあたためるのか

この場にくる人々が
あるがままで在れるよう

私たちは「わっか」で在り続けたい

日ようわっか
10:00~15:00

24日 大人 10 名 子ども 8 名

ごはん：カレーライス



いつも日ようわっかに来ている子どもたち。いままで、ずっとあったんだけど卓球にはまったく興味を示さなかったのに、なにがきっかけなのか、この日は卓球をしました。何かでみたことはあるのかな、なんとなくラケットでピン球を打つものだというのはわかっているようでした。あとは、自分たちでやりたいように、卓球のようなことをしていました。聞いてくれたら、ルールみたいなことも言おうかなと思っていたんだけど、聞かれることもなかったので、ずっとながめていました。

waccafe 10:00~14:00 金曜日

1、8、15、22、29日 のべ9名

珈琲の落ちる時間を楽しんでいる自分に、ふと気づき、

ゆっくりと呼吸しはじめる…来る人が

そんな時間や空間になればという思いを込めた waccafe。



のっばらわっか 10:00~夕方 (子どもたちが帰るまで)

おやすみです (写真はこれまでの様子)。

野天の下、広い野原で好きずきに過ごす。雨に見舞われた時にはずぶぬれになりながら遊び、強風の時はパラソルを広げて自分も浮いてみたり。山に登りだす子、火を起こしに夢中の子、本を読んで動かない子、ごっこ遊びをはじめの子、自分がやってみよう！にチャレンジできる、そんな場です。



寺子屋わっか 毎週水曜日 18:30 ~ 20:00

6、13、20、27日 のべ24名

「テレビの音も周りもうるさすぎる！」 「宿題する場所がほしい！」 大人数兄弟の子が声を上げた事からはじまった寺子屋わっか。小学生から中学生の子ども達がスタッフと一緒に学習しています。

委託事業
さかっこクラブ
放課後児童クラブ

2018年4月より米原市放課後児童クラブを
受託しています。

子ども達一人一人と向き合うことは容易ではありません。どんなにきれい事を言っても、人と人である以上、相性があります。だから、子ども達に寄り添うにも難しいこともあります。それを無理矢理に寄り添っているような雰囲気ですと近づくと関係は悪化します。

子ども達からすれば、ボクらは長い人生の中のたった数年を共に過ごしている大人に過ぎません。でも、子ども達にとっての1年は、大人以上に濃密な時間でもあります。子ども達はたった1年で大きく成長します。体も大きくなります。心の変化も目まぐるしいです。だから、ボくら大人のここでの関わり次第で人生を左右する可能性もあります。たった一言が子ども達の人生への向き合い方を大きく変えることだってあります。

子どもといえど、一人の人間です。一つの命です。そこに大人との大きな違いなどありません。そこをただ生きてきた時間と経験と知識の差だけで、子どもを困らそうとするのは浅はかです。子どもと一人の人間として向き合うことが大切なのです。



参加者 1名

< 事業の目的 >

子どもがまるごと受けとめられる経験をし、夢中になれるものを見つけ、安心して自分が夢中になるものを作りぬくことで、結果的に成長することを目的とした事業です。そのために、小中学生に、彼らが夢中になるものを、やりたいように突き詰めるサポートを、一緒に過ごすスタッフやと子どものやりたいことの分野における専門家が行う。スタッフと専門家が、子どものやりたいことを見守りつつ必要に応じて、学習面、生活面までのサポートし結果として子どもの学力の向上を目指します。

参加者 N さんの FB への投稿より

1日

今日は、Kさん(カメラボの人)と一緒に、近くの口〇ソ〇に行きました。パソコンも結構進められました。とっても、楽しかったです。

29日

今日は、久々の投稿です。

さて、人事異動の新聞が、最近届きました。県の図書館の方々、ありがとうございました。楽しく活動できました。



講演会 視察など

【見学】 4日（月） 2名

■ 社会人 1名

子どもたちとひたすら遊び続けてくれました。引っ掛かりがすこしとれたような様子で、帰りは満足そうに帰られました。

■ 大学生 1名

大学の研究で子ども食堂をテーマにしてくれている方が来てくれました。他の子ども食堂と比べると圧倒的に自由な場だとおっしゃってくださいました。

みなさまからの 寄付など

みなさまからご支援いただいた物品や資金は
「こどもがほっとできる場所をつくり続ける」ための活動に使わせていただきます。

物品でのご寄付

おもちゃ	1名	お菓子	2名
野菜	2名	ぬいぐるみ	1名

資金でのご寄付

継続ご寄付 6名





団体名 特定非営利活動法人 わっか

住所 〒521-0012 滋賀県米原市米原 178-5

電話 070-1803-1059

メール wacca235@gmail.com

WEB 「わっか 米原」で検索 (<http://bouken-asobiba.jimdo.com>)

・ Facebook ページ 「こどもと大人の居場所 わっか」で検索 <https://www.facebook.com/wacca2014/>

・ ブログ：nobi と asuka アメブロ「月ようわっか」で検索